

藍住町 議会だより

藍住町議会
ホームページ
(アドレス)

<https://www.town.aizumi.lg.jp/gikai/>



第 110 号

2022(令和4)年 8月25日



情 熱

6月定例会

一般質問 ～町政のここが聞きたい～… P. 4～7

わたしの一言・議会のうごき …………… P. 10

6月定例会

6月議会定例会が6月7日から17日までの11日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

- 令和3年度藍住町一般会計補正予算の専決処分(※1)の報告と承認 …………… 可 決
歳入歳出それぞれ1億7,100万円増額し、予算総額を137億7,800万円とする。
- 令和4年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認 …………… 可 決
歳入歳出それぞれ3億8,500万円増額し、予算総額を134億5,500万円とする。
- 藍住町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告と承認 …………… 可 決
- 藍住町介護保険条例の一部改正 …………… 可 決
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による
介護保険第1号被保険者の保険料減免基準の適用期間を延長するための一部改正
- 徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更 …………… 可 決
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意 …………… 中野 稔氏
- 固定資産評価員選任の同意 …………… 小川哲央氏
- 藍住町西クリーンステーション圧縮式塵芥車の購入契約の締結 …………… 可 決
契約金額 796万260円
契約の相手方 徳島日野自動車株式会社
- 藍住東中学校トイレ改修工事(第1期)請負契約の締結 …………… 可 決
契約金額 5,940万円
契約の相手方 大徳建設株式会社

～報告～

- 令和3年度藍住町一般会計繰越明許費繰越計算書(※2)の報告
繰越総額 5億1,391万9,192円
- 令和3年度藍住町一般会計継続費繰越計算書の報告
繰越総額 6,232万2,500円
- 令和3年度藍住町水道事業会計予算繰越の報告
繰越総額 1億9,200万円
- 令和3年度藍住町下水道事業会計予算繰越の報告
繰越総額 4,125万9,132円
- 藍住町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出

※1 専決処分とは？ (地方自治法第179条)

議会が議決すべき条例・予算などについて、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないとき、町長はその議決すべき案件を処分することができる。町長は次の会議においてこれを議会に報告し、その承認を求めなければならない。

※2 繰越明許費とは？ (地方自治法施行令第146条)

特定の事業や天候の都合などの事情で、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用することができる経費(地方自治法第213条)を繰越明許費という。町長は、翌年度の5月31日までに繰越計算書を調製し、次の議会の会議に報告しなければならない。

陳

情

4件の陳情があり、議員に配布しました。

- 女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情

陳情者 女性スペースを守る会-LGBT法案における『性自認』に対し慎重な議論を求める会-
共同代表 飯野 香里、井上 恵子、永田 マル、山田 響子

- 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

陳情者 海事振興連盟
会長 衛藤 征士郎

- 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者 辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会
代表者 福本 圭介

- 「奥村晴明議員(議会運営委員長)の議会中の発狂沙汰・暴力を問う-藍住町議会における議員の異常行動の抑止および議会秩序の保持を求める陳情書-」

陳情者 喜田 康稔

徳島県町村議会議長会 議員研修会に参加

8月3日、徳島県町村議会議長会議員研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン配信を視聴しました。

研修会では、次の方々による講演が行われました。

- 読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏
「どうなる日本の政治と経済」
- NPO法人日本トイレ研究所代表理事 加藤 篤氏
「災害時に命を守るためのトイレ対策」



全国町村議会議長・副議長 研修会

5月30日、全国町村議会議長・副議長研修会が東京都で開催され、西川良夫議長が参加しました。研修会では、次の方々による講演が行われました。

- 東京大学名誉教授 大森 彌氏
「町村議会のあるべき姿」
- 大正大学社会共生学部教授 江藤俊昭氏
「町村議会議員報酬について」
- 上智大学法学部教授 三浦まり氏
「地方議会とハラスメント」



板野郡町議会議長会 徳島県知事と板野郡内正副議長との意見交換会

—板野郡内5町から徳島県に対して7件の要望を提出—



8月5日、徳島県知事と板野郡内正副議長との意見交換会が開催されました。

藍住町からは、近年の自然災害発生への懸念の高まりや、災害復旧時には道路などの土地境界線の早急な復旧が求められることから、地籍調査事業のさらなる推進に向けて、徳島県において安定的な予算の確保を国に働き掛けることについて要望しました。



はやし 林 議員
しげる 茂 議員

**物価高騰から暮らしを守る対策は
様々な事業を組み合わせ、町民の
生活支援を進める**

問 物価高騰の原因は、コロナとウクライナ侵略だけでなく、アベノミクスによる極端な円安と輸入価格の上昇を招いた政府の失政である。臨時交付金で生活困窮世帯に急激な物価高騰に対する給付金を支給すること。

答 生活保護世帯や障がい者世帯など全ての世帯に1万5千円分の商品券を1万円円で販売する、お得々ポン事業を実施。18歳以下の子どもには、3千円分の商品券を届ける、すこやか子育て応援事業を実施。65歳以上の高齢者には、3千円分の商品券を配るシニアライフ応援事業を実施する。

問 学校給食で使用している食材が高騰しているが上昇分は町が負担を。食材は地元産を使用すること。

答 現状では給食費の改定は行わない。地元産の食材の使用については積極的に取り入れていく。

問 引き続き限られた食材費の中で運用していきたい。

答 学校給食費は、北島町や板野町のように半額負担にすること。

答 現時点では半額負担にすることは考えていない。

**脱炭素社会の実現を目指す取組は
地球温暖化対策実行計画を策定し、
取組を行っている**

問 町はゼロカーボンシティを宣言し取組を具体化すること。

答 今後、国において2050年カーボンニュートラルに向けた様々な動きが出てくると思われる。町単独での宣言は、こうした状況を見守っていききたい。

問 庁舎屋上の太陽光発電設置状況とさらなる町の計画は。

答 庁舎屋上に太陽光パネルを82枚設置予定であり、30キロワットの発電量を見込んでいます。売電はせず、余剰電力を蓄電池し日常的に電力を利用する。



町民体育館に設置されている太陽光パネル

問 公共施設では事業者に屋根貸しを行い、太陽光発電を推進し、個人住宅・店舗には太陽光発電設置に助成を。

答 助成の実施は現時点では考えていない。

問 公共施設・道路・公園のLED化の推進状況と今後の計画は。

答 町内の道路照明の約98%をLED照明に変更している。公園の外灯は老朽化した器具から順次更新していく計画。庁舎内の照明は、順次LED化を進めている。

**带状疱疹ワクチン接種への助成を
国の動向を踏まえ、町として対応を
検討する**

問 日本では、80歳までに約3人に1人がかかると言われている带状疱疹。子どもの頃にかかった水ぼうそうのウイルスが、免疫が低下した際に発症する。ワクチンを打つことで病気に対しての免疫力が高められ発症や重症化を抑えられる。50歳以上の人への带状疱疹ワクチン接種(自己負担2回で約2万円)の助成をすること。

答 带状疱疹ワクチンは任意接種であることから、助成は行っていない。

国は定期接種に向けた検討を審議しており、これらを踏まえて、町として対応を検討する。

その他の問

〇ごみの減量化について



ながはま ひろゆき
永浜 浩幸 議員

中学校の運動部活動について
地域移行の実現には課題が山積している

問 スポーツ庁で中学校の運動部活動の地域移行を検討してきた有識者会議は、5月31日、提言案を大筋で了承した。令和5年度からの3年間で改革を進めるとともに、この日の提言案では、この期間を超えて改革を進めること含みを持たせた。困窮家庭への費用補助や、指導者確保のための支援方策の検討なども盛り込まれた。

藍住町において、中学校の運動部活動が地域移行されている事例はあるか。

答 子どもたちのスポーツ環境の整備、教員の働き方改革を進めていくべきと考える一方、実現するためには課題が山積している。子どもたちのスポーツ環境を保障するための受皿となる組織づくりが全ての自治体で可能か、また、常時活動している部活と休日の指導との整合性がうまく取れるのかといった問題がある。



練習に励む藍住東中学校女子バスケットボール部

小中学生の不登校について
平成27年度をピークに減少傾向

問 小学生・中学生の不登校の人数・割合と、不登校の児童生徒へは、どのような対応をしているか。

答 小中学校で不登校ないしは不登校の傾向にある児童生徒は昨年度末、約50名。小学校は約1%で、ほぼ全国平均並。中学校は2〜3%の間で、全国平均を大きく下回っている。不登校の児童生徒やその保護者に対しては、ス

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。

定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は11月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
 - ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
 - ③ 字数は500字以内。
 - ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。
- ※郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail:gikai@aizumi.i-tokushima.jp

クールカウンセラーが藍中校区と東中校区にそれぞれ1名配置され、週1回、児童生徒とその保護者のカウンセリングを続けている。

また、適応指導教室には常時20名余りが在籍しており、県から1名のカウンセラーが配置され対応している。その他、スクールソーシャルワーカーも週1回派遣され、家庭支援を中心に不登校の問題にも関わっている。

町教委では年4回、不登校児童生徒対応連絡協議会を開催し、各学校の現状と対応の実態について情報交換し、共通理解を図っている。



たけうち きみひこ 議員
竹内 君彦

電子感謝券について

加盟店舗の促進を図っていく

問 ふるさと納税の返礼品として、徳島県で初めての取組である電子感謝券。交流人口をターゲットにした非常に良い取組だと思いが、電子感謝券とは、こういったものなのか。

答 電子感謝券はふるさと納税の返礼品の一つとして、町内の加盟店舗にて1ポイント1円で利用できる町内限定の電子ポイント。寄附金額の30%がポイントとして返礼される。利用期限は寄附してから2年間あり、専用アプリで二次元コードを読み取って決済、支払をするようになっている。

問 現在の加盟店の店舗数は。

答 6月10日現在で19店舗。

問 現在の電子感謝券の利用状況はどれくらいか。

答 10件、17万円の寄附があった。利用状況は、30%分の5万1千円のうち6件、3万3086

円を活用いただいている。

問 今後PRはどのよう行なっていくのか。

答 加盟店舗の促進を図り、ふるさと納税の利便性を向上させることによって、藍の館りニューアルオープンや藍の魅力発信と併せて、電子感謝券事業を推進したい。



電子感謝券イメージ

ふるさと納税の返礼品について

補助制度の創設など積極的に支援していきたい

問 電子感謝券は、藍住町を訪れる方に喜んでもらえる取組である。藍住町に訪れる機会はないが、本町にゆかりのある方や、本町を応援してく

れる関係人口の方にも喜んでもらえる、ふるさと納税の返礼品となる特産品や加工品の開発を支援する仕組みづくりを検討してはどうか。

答 特産品や加工品の開発には、商品化に向けて一定の経費が必要となる。町としても返礼品としての提供を前提に、補助制度を創設するなど積極的に支援していきたい。

体育センターの利用状況について

利用方法及び管理、施設整備の両面から対策を行っていく

問 フットサル競技で体育センターを利用していただく団体の施設の使い方が非常にモラルに欠けている。フットサルで体育センターを利用するならば、しっかりと利用ルールに従って防護ネットをする、ゴールの下にはマットをひくなど、体育館を傷めないような対策が必要だが、現状、ほとんど守られていない。このことに対しての今後の対策と対応はどのように行うのか。

答 体育センターの利用方法及び管理については、施設利用ガイドラインを作成し、適切な運用・管理を利用者・管理者に求めていく。この基準を遵守いただけない場合は、使用中止等の措置を含め対応をしていきたい。

施設整備は、ゴール下の床を保護するためのマットや、防球ネットの効果を高める砂袋、壁面保護のための施設設置などを検討していく。



おがわ ゆきひろ 議員
小川 幸英

高齢者対策について

関係機関と連携し対応していく

問 認知症の現状と対策は怎么样了なっているか。

答 本町の第1号要支援・要介護認定者のうち認知症自立度Ⅱ以上の方は748人。

認知症高齢者見守り事業や認知症サポーターの養成、認知症初期集中支援チームを設置している。

問 高齢者の健康づくりにどのように取り組んでいるか。

答 高齢者の健康づくりとして複数の事業を展開している。ゆめわくわく歩イントは、7月15日から再開できるように準備中。

問 介護問題、介護予防対策はどのような方針か。

答 関係部署等と情報共有を図り、個々の状況に応じて連携しながら対応している。

問 通所介護、通所リハビリテーションの現状と対策は怎么样了なっているのか。

答 令和3年度は通所介護などに約5億9千万円給付しており、介護保険給付費総額の約24%を占めている。

本町は介護給付費への影響が大きい一方、在宅介護における限界点の底上げが図られている。

問 相次いで商品の値上げで高齢者にとっては非常に厳しい現状となっており、さらに10月から多くの商品が値上げすることだが、本町での対策は。

答 お得くポン事業やシニアライフ応援事業の準備を進めている。

問 ノリ乗りタクシー券について配布した件数と利用状況は怎么样了なっているか。利用者や利用しない方の声は聞いているか。

答 122人が236セット購入し、販売金額は131万5千円。5月のみで、34万9千円が利用された。

なお、現時点で要望などは寄せられていない。

新型コロナウイルス感染症対策について

商品券事業は地域経済の活性化につながるもの

問 3回目の接種状況と対策は怎么样了なっているか。

答 接種者数は2万970人で、59.1%。円滑にワクチンの予約、接種ができる環境づくりに努める。

問 60歳以上の4回目接種は怎么样了なっているか。

答 順次接種券を発送する。なお、18歳以上60歳未満の基礎疾患がある方には、申請により接種券を送付する。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した経済対策について、どのよ

うな計画をしているか。

答 お得くポン事業、すこやか子育て応援事業、シニアライフ応援事業の商品券事業を実施する。9月1日から利用開始できるように進めている。



ゆめわくわく歩イントカード

学校教育について

マスク着用が不要な場面では着用を求めない

問 中学校の体育祭、小学校の運動会や修学旅行などの行事の計画は。

答 中学校の体育祭は5月に実施した。小学校の運動会は10月中に実施予定。修学旅行は、東

中学校は7月、藍住中学校は12月初め、小学校は11月初めに計画している。

問 熱中症の現状と対策、マスクの今後の取扱い。

答 屋内外の体育の授業等マスク着用が不要な場面では着用を求めない。また、幼稚園児へは特に必要な場面を除き一律に着用を求めない。

市町村議会議員研修に参加して

議会議員 前田 晃 良

4月27日から4月28日までの2日間、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所で市町村議会議員研修「防災と議員の役割」を受講しました。全国の市町村から70名の議員が集まりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響の中での開催となったため、手指消毒やマスク・フェイスシールドの着用やソーシャルディスタンスの確保など感染症対策を行った上での参加となりました。

この研修は、地震や集中豪雨等による災害に備え、平時からの防

災の心構えや地域での連携の重要性について学び、講義に加え演習等の双方向型研修の中で、現在の防災対策に関連する諸課題について考えることを目的に行われました。

1日目、最初に熊本市代表監査委員、元熊本市危機管理監 井上 学氏より「災害時自治体の受援と応援について」と題して、平成28年に起こった熊本地震の経験から、対応と教訓また失敗から学んだことについての講義が行われました。

次に、跡見学園女子大学観光コミュニケーション

学部 元板橋区危機管理担当部長、前区議会事務局長 鍵屋一氏から「平時の防災マネジメントを中心に」について、全国の様々な災害を事例やコロナ禍での避難所や避難時の逃げられない人々に対する取組の紹介がありました。その後、4人1組のグループに分かれて、「岩手県大槌町の災害対応 平野総務部長の経験」をまとめた文章から、大切なことをそれぞれに抜き出し、グループディスカッションを行う演習問題に取り組み、1日目は終了しました。

2日目は前日に引き続きして事例紹介があり、熱海市議会 越村 修議長より「土砂災害における熱海市議会の対応と取り組み」について講義が行われました。内容は、土石流災害で議員として、議長

として取り組まれた経験談でありました。

次に、鍵山一氏から前日に引き続き「平時の防災」について、地域防災政策や日頃から取り組める簡単な防災対策などの説明がありました。その後、前日と同じメンバーで「東日本大震災での宮城県東松島市議会議員の行動」をまとめた文章から前日と同様の方法でグループ演習を行いました。

最後は、「災害時の議会・議員活動」について講義が行われ、私たちがこれから取り組んで行かなければならないことや、常日頃から防災意識を持つことが大切であることを学び2日間の研修が終わりました。

今回の研修を終えて、多くの課題を見つけて、多くができました。災害はいつ起きるか分かりません。だからこそ常日頃から防災意識を持つことが大切だと思います。防災対策の3助「自助」「公助」「共助」の中の「公助」だけに頼らないようにするために、非常用持ち出し袋の準備や自主防災組織の促進と活性化、地域との交流、「自助」「共助」の輪を広げられたいと思います。

藍住町議会でも、防災マニュアルの見直しや年次改良など、我々が議員一丸となつてできることから少しずつ謙虚に取り組みたいと思います。



研修の様子



グループ演習で交わされた意見を貼ったホワイトボード

徳島県町村議会女性議員連盟研修会に参加して

議会議員 宮 本 影 子

7月20日、那賀町議会において、令和4年度徳島県町村議会女性議員連盟の研修会が開催されました。那賀町は平成17年3月に5町村が合併して誕生した町です。総人口は約7千人で、産業は主に農業と林業です。この町で今回、女性議会が行われるとのことで、研修に参加してまいりました。

「女性目線での町政に対する質問」とのことで、町内で募集をかけ、議長も町民から選ばれた方のもと、応募された5名の女性が一般質問通告書に従い質問をされました。那賀町は若い移住者が増えているとのことで、地域住民と移住者をつな

げる支援や子育て支援、空き家対策、林業に関する施策、伝統文化・生活文化の継承について質問をされました。答弁者も鋭い質問にたじろぐことがあり、20分の持ち時間で足りない場面もありましたが、町側・議会側には町民の思いは十分に伝わったと思います。最後に、那賀町長から「議員として女性

が大勢立候補していただきたい。」との講評がありました。この研修会に参加したことで、町政に対する女性目線のすごさに感銘を受け、一議員として町全体を見渡し、町民との対話の必要性を感じました。コロナ禍ではありますが、対話のできる環境づくりができればと思っています。



女性議会



あいさつをする那賀町議会議長

藍住町防災対策特別委員会

6月17日、藍住町防災対策特別委員会において、藍住町総合防災ハザードマップについての研修を行いました。令和4年4月の改定に伴うハザードマップの変更点やウェブ版のハザードマップの紹介、新たに導入された小型気象計の活用について説明を受けました。

委員からは、「指定避難所の対応地区はどのように決めているのか」、「町内の要配慮者を把握しているのか」、「福祉避難所と要配慮者利用施設の違いは」などの質問がありました。委員からの質問に対して、「対応地区は避難所の収容人数で決めている」、「要配慮者本人の了解を得て名簿を作成している」、「要配慮者利用施設は避難所ではないため、原則、避難は避難所が福祉避難所へ」などの回答がありました。



導入された小型気象計



ハザードマップの説明を受ける委員

～歴史は繰り返す～

人類は太古の昔から戦争とウイルスとの戦いの繰り返しであった。私たちは、くしくもこのふたつの災厄に直面しています。

ひとつには新型コロナウイルスです。約二年半前に中国武漢を発生源(中国は否定)として、あっという間に全世界へ蔓延しました。

我が国でも、当初、対処法がわからず、手洗い、うがい、マスクの着用を呼び掛けましたが、マスクがない、ワクチンがない、高熱が出て受け入れてくれる病院がない、など大混乱が生じ、多くの方が亡くなりました。世界第3位の経済大国と言いながら、何というていたらくでしょう。この間、経済が停滞し、多くの企業が倒産の危機に瀕しています。一日も早く人間の英知で克服してくれることを祈るばかりです。

ふたつ目にはロシアによるウクライナ侵攻です。ロシアの一方的な侵略に対して西側諸国は非難し、ウクライナに武器の供与をしています。自由主義国家も専制国家もグローバル経済のもとでは密接に相互依存しています。何の益もない愚かな殺りくと破壊は一日も早く止めるべきです。武力を背景にした外交ではなく、善隣友好外交です。



平和の象徴 ヒマワリ

議会のうごき

5月

- 12日 議会だより編集委員会
▼109号の校正について
- 16日 北島町正副議長就任挨拶
- 19日 徳島環状道路建設促進期成同盟会第30回総会(徳島市)
- 23日 徳島県一般国道11号・55号整備促進期成同盟会総会(徳島市)
- 27日 商工会通常総代会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 令和4年第2回藍住町議会定例会の日程等について
- 31日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 31日 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)
- 5日 町民一斉避難訓練
- 7日 6月議会定例会開会
- 14日 議会全員協議会
▼新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について
- 17日 藍住町汚水処理構想の見直しについて
- 17日 議会運営委員会
▼議案の追加について
- 17日 6月議会定例会一般質問
- 17日 6月議会定例会閉会
- 議会改革調査特別委員会
- 一般質問について
- 藍住町議会基本条例(案)について
- 議会運営委員会

7月

- 29日 一般質問に関する変更事項について
- 29日 藍住町防災対策特別委員会
- 30日 藍住町総合防災ハザードマップについて
- 30日 議会だより編集委員会
- 30日 110号の作成について
- 20日 藍住町福寿連合会定期総会
- 22日 徳島県町村議会議長女性議員連盟総会及び研修会(那賀町)
- 26日 女性農業委員等の登用に關する要請活動
- 27日 藍住町議会議長会定期総会並びに町村議会議長・事務局長研修(徳島市)
- 27日 議会全員協議会
- 28日 国営農地防災事業完了後の施設維持管理費の費用負担について
- 28日 全国高等学校総合体育大会「躍動の青い力」四国総体2022」総合開会式(徳島市)
- 28日 地域おこし協力隊 藍染作品



地域おこし協力隊 藍染作品

編集後記

新型コロナウイルス感染症がなかなか収まらない中、ロシアのウクライナへの侵略が近隣諸国だけでなく、日本にも大きな打撃を与えています。

食料品の高騰だけに収まらずインフラにも多大なる影響を及ぼしている。昨今、議会が丸となり、この状況を理事者そして町民の皆様と共有し、社会活動を回復させると共に毎日生活していく大切な場所でも少しでも穏やかに、そして健康に過ごせるように構築していきたいと思っております。

(宮本 影子)

議会だより編集委員会

- 委員長 紙 永 芳 夫
- 副委員長 永 浜 浩 幸
- 委員 前 田 晃 良
- 委員 竹 内 君 彦
- 委員 宮 本 影 子